

開講年度		
2022		
授業科目名		
遺伝子治療・再生医学		
テーマ		
遺伝子治療・発生再生医学		
課程	科目分類	
博士課程	専門基礎科目	
区分	単位数	
選択	2単位	
開講期	授業形態	実施形態
前期・後期	講義	対面および遠隔授業
開講日（曜日・時限）		開講場所
集中講義		未定
ナンバリングコード		
健康HR DHR10074 先進AT DAT10074		
主担当教員		連絡先
小賤 健一郎 / KOSAI Kenichiro		kosai@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp
共同担当教員（担当回数・割合等）		
小賤 健一郎 / KOSAI Kenichiro(5/15回) 三井 薫 / MITSUI Kaoru(6/15回) 伊知地 暢広 / IJICHI Nobuhiro(3/15回) 松本 邦夫 / MATSUMOTO Kunio (1/15回)		
学習目標		
細胞生物構造学，発生学を理解し，遺伝子治療・再生医学などの先端治療法開発のための知識と研究手法を習得する。		
到達目標		
上記を達成するため，細胞生物構造学の研究方法を知り，遺伝子治療，発生再生医学の研究手法，バイオテクノロジーを学習する。		
授業内容（授業回数・テーマ・担当者・学習方法）		
1 細胞の構造と機能（小賤健一郎） 2 細胞骨格と運動器（三井 薫） 3 細胞分裂と細胞周期（伊地知暢広） 4 遺伝子制御と体形成（小賤健一郎） 5 初期発生と胚葉分化（三井 薫） 6 細胞死（伊地知暢広） 7 腫瘍生物学（小賤健一郎） 8 免疫組織化学（三井 薫） 9 幹細胞生物学（三井 薫） 10 ES細胞と発生学（三井 薫） 11 再生医療への応用1（三井 薫） 12 再生医療への応用2（松本 邦夫） 13 遺伝子治療1（小賤健一郎） 14 遺伝子治療2（伊地知暢広） 15 再生医療等製品の開発動向及び審査について（小賤健一郎）		
授業時間外学習		
【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。		
教科書・参考書		
細胞の分子生物学（ニュートン・プレス），ラングマン人体発生学（メディカル・サイエンス・インターナショナル）		
評価基準および方法		

試験，レポートにより総合的に評価
時間外対応・オフィスアワー
オフィスアワー：質問に対応可（アポイントが望ましい） メール・HP : kosai@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp 授業後 : 相談等の対応は授業後に行う。
その他
必要に応じ夏季，冬季休業期間に集中講義・演習を行う。
アクティブ・ラーニング
その他 / Other ;
アクティブ・ラーニング（「その他」の内容）
特になし / None in particular
アクティブ・ラーニング（授業回数）
なし / None
実務経験のある教員による実践的授業
特になし / None in particular
SDGs
9 産業と技術革新の基盤をつくろう / INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE ;